

第58回北海道 新体操 選手権大会 (全日本ジュニア 新体操 選手権大会北海道予選) 開 催 要 項

1 主 催	北海道体操連盟		
2 後 援	北海道教育委員会・(公財)北海道スポーツ協会		
3 協 賛	セノー株式会社		
4 会 場	道立野幌総合運動公園体育館 (〒069-0832 江別市西野幌 481 TEL011-384-2166)		
5 日 程	令和元年 10月5日(土)～6日(日)		
	10月5日(土)		10月6日(日)
	9:30～ セッティング		10:30～ 全日本ジュニア個人競技決勝
	10:00～ 審判会議・監督会議		13:50～ 団体競技
	11:05～ 開始式		15:40～ 閉会式
	12:00～ 練習・個人競技		

※ 参加人数等により競技日程全体に変更がありますので、申込後調整し連絡いたします。

※ 器具セッティング・カッティングは、参加選手で行いますのでご協力願います。

6 参加資格

- (1) 本年度の選手登録手続きを完了し、本大会の参加料・傷害保険料を定められた期日までに納入した者。
- (2) 高校生以下の参加者は必ず引率者を伴うこと。
- (3) 北海道新体操選手権は今年度の北海道新体操大会で個人2種目の部6位までの選手。
- (4) 北海道新体操選手権は今年度の全道高体連大会一部に出場した個人選手。
- (5) 今年度国体予選に出場した選手。
- (6) 北海道体操連盟より推薦された者。
- (7) 全日本ジュニア新体操選手権大会北海道予選会に参加する者。
男子は小学4年生から中学3年生までの者、女子は2019年12月31日までに11歳～15歳になる者。
- (8) 団体については1所属1チームとする。

7 競技方法

(1) 北海道新体操選手権

① 男子の部

ア 団体選手権：ジュニアの部、高校・一般の部による自由演技の得点により順位を決定する。

イ 個人総合選手権：ジュニアの部スティック・リング2種目の合計点により順位を決定する。

高校・一般の部は高体連種目とする。(スティック・リング)

② 女子の部

ア 団体選手権：ジュニアの部(リボン5)、高校・一般の部(フープ3・クラブ4)による自由演技の得点により順位を決定する。

イ 個人総合選手権：ジュニアの部ボール・クラブ2種目の合計点より順位を決定する。

高校・一般の部は高体連の種目とする。(ボール・クラブ)

(2) 全日本ジュニア新体操大会予選

男 子	団 体	ジュニアの部	徒手による自由演技
	個 人	ジュニアの部	スティック・リングで予選、ロープ・クラブで決勝 予選通過10名
女 子	団 体	ジュニアの部	リボン5
	個 人	ジュニアの部	ボール・クラブで予選、ロープ・リボンで決勝 予選通過10名

*全日本ジュニアの団体競技は、選手権大会の団体競技と重複する。

*全日本ジュニアの個人予選は、選手権大会の個人競技と重複する。

(3) 手具点検については、必要に応じて行う。

8 競技規則

(1) 男子：日本体操協会競技規則・採点規則一般ルールを適用する。

日本体操協会競技規則・ジュニア採点規則・一部改訂を適用する。

(2) 女子：2017～2020年版(公財)日本体操協会競技規則・採点規則シニアルール及び高校適用規則を適用する(日体協HP 確認事項を含む)。

2017～2020年版(公財)日本体操協会競技規則・採点規則ジュニアルールを適用する(日体協HP 確認事項を含む)。

- (3) 全日本ジュニア北海道予選に参加する選手は、選手権大会の個人競技を全日本ジュニア個人競技の予選とし、男女ともに上位10名が決勝に進む。

9 表彰

(1) 北海道新体操選手権大会

団体選手権：男子はジュニアの部の優勝チームに優勝杯、高校・一般の部の優勝チームに遠藤杯
女子はそれぞれの部の優勝チームに優勝杯、1～6位に賞状を授与する。

1位～3位についてはエントリメンバー全員に賞状を与える。

個人総合選手権：それぞれの部の優勝者に優勝杯、1～6位に賞状を授与する。

種目別選手権：種目別1～3位に賞状を授与する。

10 参加申込方法

- (1) 所定の申込書に必要事項を記入し、期限までに下記申込先までメールで送信すること。同時に所属長が押印した正式申込書・参加承諾書（高校生以下）を郵送すること。

(2) 申込先・締切期日

令和元年8月23日（金）必着

男子 〒061-1412 恵庭市白樺町4丁目1番1号 恵庭南高校 工藤 直人 宛

e-mail 823naoto.kudo@hokkaido-c.ed.jp

女子 〒064-0916 札幌市中央区南16条西6丁目2-1 静修高校 小倉 正恵 宛

e-mail m.ogura@sapporoseishu.ed.jp

- (3) 参加料4,300円（傷害保険料を含む）

- (4) 参加料・傷害保険料は大会会場で受付時に納入すること。棄権・不参加の場合も支払うこと。

- (5) 参加申込について、所属名および氏名は日本体操協会に登録したものを使用すること。

所属団体名は正式名称（アルファベットの大文字・小文字の区別も明確に）を記載すること（高校生は学校名）。氏名の漢字についても登録したものを確認のうえ記入すること。

11 審判

- (1) 男女ともに帯同審判制とし、大会参加人数で配分する。ただし、1団体3名以内とする。

- (2) 申込み後、各所属に派遣人数を連絡します。その後、期日までにメールで報告すること。

- (3) 審判を派遣できない場合は、負担金50,000円を大会会場で受付時に納入すること。

男子：恵庭南高等学校 工藤 宛 e-mail 823naoto.kudo@hokkaido-c.ed.jp

女子：静修高校 小倉 宛 e-mail m.ogura@sapporoseishu.ed.jp

12 全日本ジュニア新体操大会出場について（前年度の成績による）

- (1) 男子団体は上位2チームの出場を認める。

- (2) 男子個人は4種目の合計得点により上位4名の出場を認める。

- (3) 女子団体は上位1チームの出場を認める。

- (4) 女子個人は4種目の合計得点により上位3名の出場を認める。

13 全道ジュニア大会出場枠について

- (1) 男子は制限なし

- (2) 女子は全日本ジュニア新体操選手権大会北海道予選会の個人20名に全道ジュニア大会の出場権を与える。

14 その他

- (1) 音響設備は本部で道連PA（CD対応）を準備します。

- (2) アイロンは本部で準備します。

- (3) 大会期間中に発生した傷害については、その責任をスポーツ傷害保険の範囲とします。尚、大会参加に際しては、万一の事故の発生に備えて傷害保険や賠償保険に加入しておくなど万全の事故対策を講じておくこと。

大会に参加する選手の指導者・コーチは必ず責任賠償保険に入っていること。

- (4) 監督は役員をお願いすることがありますので、ご協力ください。

- (5) 宿泊は各自で手配してください。

- (6) セティング・カッティングには極力参加してください。

- (7) 申告書は、提出不要。